

教職をめざす学生を応援するコミュニティー誌

2018
summer
vol. 9

EDU PONT

エデュポン

特集

誌上座談会

実習体験者と
受け入れ教員が
語る「教育実習」

CAMPUS
SNAP

東京編

青山学院大学、日本大学

10年後どんな自分
になっていたいですか？

早稲田大学
文化構想学部 2015年卒業
岡副麻希さん
キャスター



03 教育リレーコラム
リヒテルズ直子さん
地球社会の問題にクリエイティブに
とりくむ市民を育てる

04 特集 誌上座談会
実習体験者と
受け入れ教員が語る
「教育実習」

08 今さらきけない！教育問題
「特別支援教育」とは？
明星大学教授
樋口修資さん

11 キャンパススナップ
東京編 青山学院大・日本大
10年後どんな自分にな
なっていたいですか？

12 じっくりいますか？
給与明細の見方
大竹美登利さん×学生特派員
(東京学芸大学名誉教授)

14 表紙のインタビュー
岡副麻希さん
一人では挫けることも
仲間となら達成できる



地球社会の問題に クリエイティブに とりくむ市民を育てる

オランダ在住で、オランダの教育、社会事情に詳しいリヒテルズ直子さん。近代の公教育制度の歴史を振り返りながら、この先グローバル社会を生き抜く力を育むために教員は何をすべきかを考えます。



リヒテルズ直子さん
(りひてるず・なおこ)
1955年生まれ。九州大学大学院博士課程修了。専攻は比較教育学・社会学。96年よりオランダ在住。翻訳、通訳、執筆業の傍ら、オランダの教育および社会事情に関する調査などを行う。日本各地で講演活動を行うほか、オランダで各種団体の視察企画に協力、日本人向け教育研修も企画・実施。

明

私たちは、それが、問題山積のものであることに困惑している。私たちの目前にあるグローバル社会は、飽くことなき利潤追求の産業競争の結果、文化相違と貧富の格差で縦横に分断され、ましてや人類の住処である地球の自然は、取り返しがつかないまでに破壊されてしまっている。学校は、教育者は、この社会でこれから生きていく子どもたちの人間形成にどう関わればよいのだろうか。



近代の公教育制度は、産業化と共に発展してきた。それは、国家制度として他国を凌ぐ国力増進をめざしたもので、学校は

大半において、そのための優れた人材を選りすぐるという役割を担われてきた。歴史教育は自国中心に行われ、子どもたちは、知らず知らずのうちに自国中心的な考えをする人間に育てられてきた。異文化の相違を乗り越え、地球を健全なものに取り戻さなければならぬ時代を迎えているにもかかわらず、従来の伝統的な学校は、問題解決の方途を持たないどころか、むしろ、その問題を生み出すことに貢献してきたのかもしれない。とはいえ、人類の未来を切り拓く鍵は、人間形成以外にはない。私たちおとなが、古い学校の因習から解き放たれ、地球規模での健全な社会の建設を見据えて、もう一度新たな人材形成にとりくむ以外に、明るい未来を開く鍵はない。



私は、未来世代が持つべき力として、3つのことを考えている。①自分のユニークな力を知り、当事者意識を持って社会に参加する力、②自分とは異なる他者を受け入れ他者との協働を通してインクルーシブな社会の建設に貢献する力、③ホンモノの生きた世界の生きた問題に対して、諦めることなくクリエイティブにとりくむ力、だ。

そのために、教育者がしなければならないこととはなんだろう。何よりも、子どもたちが発する問いや好奇心を潰さないことだ。教員が、わかったふりをせず、子どもの問いに興味を示すことだ。本当の学びは、そこから始まる。教科書に書かれた知識やスキルも確かに大切だ。

でも、もっと大切なのは、一人ひとりの子どもが、自分の内側から生まれた本当の問いを持ち、それと向き合い、探求し続ける力なのだ。子どもたちには、お互いが忌憚なく対話し、意味のある協働をする機会を持たせてほしい。そのためには、遊びや祝い事を通して、お互いの信頼感情を日常的に醸成しておくことも大切だ。

何より重要なのは、教員自身が、自分を知り、他者とともにインクルーシブな社会の建設に関わり、ホンモノの世界の中で学び、社会の諸問題に対しクリエイティブに解決を模索し続けることだ。教員志望者には、そうした「地球市民」の生き方を実践し、子どもたちの模範としての役割を果たし続けてもらいたい。

実習体験者と実習生 受け入れ教員が語る 「教育実習」

教育実習は、教員志望学生が初めて学校現場を体験する貴重な機会です。今回は、実習を体験した学生と受け入れ経験のある教員のみなさんに、実習中のエピソードやこれから実習を経験する学生へのアドバイスなど、それぞれの立場から語ってもらいました。

— 教育実習に実際に行ってみていかがでしたか？

大学3年の時に小学校に行きました。板書の時の書き順などについても厳しく指摘されると聞いていたので、1〜6年生で習う漢字はすべてチェックしていきましました。

私は3年の時に小学校、4年の時に中学校の社会科での実習でした。企業のインターンシップも経験しましたが、企業での一日に比べて学校では時間が経つのがとても早く感じました。実習の最後に子どもたちから色紙を

もらったのですが、コメントの中に私が何気なく発した言葉があったりして、細かいところまでしっかり見ているなあ、と驚きました。

これまで実習生を4人受け持ちました。教員を長く続けていると、初心を忘れかけることもあるので、教育実習を受け入れるのは教員にとっても良い機会なのです。その意味では、実習生にも、私たち教員にも、そして子どもたちにとっても貴重な学びの時間です。かけがえのない出会いにしたいという気持ちで接しています。

良いのだろうか」と不安になってしまつて。そんな時、実習先の先生が「最近、一度社会に出て働いてから、教員になる流れもあるよ」と仰っていたのを思い出し、卒業後は一度民間で働いて経験を積んでから、教員になる道もあると方向転換しました。

高校は、生徒と実習生の年齢が近いので、教員とは違った距離感で関わってもらうことができます。教員志望ではなく、免許取得を目的に実習に来る学生もいますが、はじめに「将来はどうあれ、今は目の前にいる生徒にとって、あなたは『先生』だからね」と伝えるようにしています。そういった学生が、実習が終わる頃には、「先生をめぐしてみようかな」と、心変わりしたことがあります。子どもとの関わりの中で、やりがいを感じてくれたのだろうと思います。

私は実習に行って、教員になりたい気持ちが強くなりました。自分が考えて組み立てた授業に対して、リアクションしてくれる子どもたちの姿を見て嬉しかったです。大変だけど、だからこそやりがいも感じました。今は、教員採用試験に向けて、実習で出会ったような子どもたちの笑顔をまた見たいという思いで勉強しています。

もともと教員志望で教育学部を選び、実習にも行きました。志望は今も変わりませんが、教員採用試験にエントリーする段階で、「この先に出会う子どもたちにとって、こんな未熟な先生で

その不安はともよく分かりません。自分の実習時の記録簿を読み返してみると、似たようなことに悩んでいます。「小・中・高・大と進み、そのまま教員になったら、社会を一度も経験しないことになる。そんな自分が社会人になろうとする子どもたちの気持ちを本当に理解できるのか」と書いていました。教員になった大学の先輩に相談すると、「とにかく色々な経験をしろ」と。子どもたち一人ひとりを尊重して、アドバイスしたり、共に考えたりするのに、自分の引き出しは多いほどいいです。

経験という点では、大学の1、2年の頃に、旅行会社のプログラムで夏休みの1カ月間、アメリカに行つて、現地の小学校で「教師アシスタント」をしました。アメリカと日本では、教室の雰囲気も全く違いますし、授業の進め方ももっと自由でした。クラ

新任の時にベテランの先生から、「なぜ教員になったのか」と聞かれ、「部活動と担任を持ちたいから」と答えると、「あなた

スの中で、机配置をアイランド形式にして、「この問題ができたら次の島」というような感じで、ゲーム感覚で進めるんです。すぐに実践できなくても、海外の教育事情を知ることが指導の幅を広げる上でも役に立つ気がします。

教育実習前や実習中に意識してもらいたいこと

は国語の先生として教員に採用されたのですよ」と言われてハッとしました。部活動や担任の仕事も大事ですが、特に、教科制の中学や高校では、担当教科でどれだけ勝負ができるのが教員の本分だと思います。実習でも、単に指導案や板書案がまともなものであるだけでなく、どれだけその単元のことを調べ、考えたのか、ということの方が大事です。「教え方」に唯一の正解はありません。実習生の考えを聞くことは、教員にとっても勉強になるのです。



実習受け入れ教員

S先生
新潟県内高校教員。担当教科は国語。

実習体験学生

Kさん
大学4年。小学校教員志望。3年次秋に教育実習を経験。

I先生
千葉県内小学校教員。教育実習生4名の指導経験あり。

Yさん
社会人1年目。民間企業で経験を積んだ後、教員を視野に。

教室で意識してもらいたいのは、立ち位置や視線です。 実習は、教職に就く前に教員目線を経験できる数少ない機会です。中には、一番後ろの席に座って子どもと一緒に授業を聞いていたりする人がいますが、それでは教員の目線になれません。机間をまわったり、前から教室を眺めたりと、できるだけ動き回って色々な角度

から子どもの様子を観察するようにアドバイスしています。実習中、朝の会を毎日担当させてもらいました。前に立つと、教室の見え方が全く違って、後ろの席の子どもまでよく見えたのを覚えています。大学の教職課程では、事前指導が組まれています。その中で、「学校は授業だけで成り立っているわけでは



ないので、その他の部分で先生方がどう動いているのかをしつかり観察してくるように」とアドバイスされました。その視点はとても大事です。教育実習だけで、教員のすべての仕事が経験できるわけではありません。実習中は授業以外に先生が何をしているかを見ておくが良いですね。実習で経験できないことの一つに、保護者との関わりがあると思います。私が、アメリカの小学校の様子を見て一番驚いたことは、保護者と教員の関係がとても良いことでした。毎朝、担任の先生と私の他に、もう一人いて、名札を見るよ、「〇〇's mother」とあるんです。保護者が日替わりで学校に来て、一緒に勉強を教えるんですね。「モンスターペアレンツ」という言葉とは、程遠い感じでした。教員も保護者の意見を求め、保護者も教員を頼りにしているようでした。実際のところ、日本でもほとんどが協力的な保護者です。そうでない場合は、保護者自身がいろいろな課題を抱えていたり、地域の中で相談できる場がなかったりというケースが多いように感じます。そういう場合、まず

は保護者の話をしっかりと聞くことが大事です。そこから信頼関係が生まれることがあります。コミュニケーション不足ということがほとんどです。電話だといつ構えて対応していた保護者と偶然、学校の玄関で顔を合わせたことがあったのですが、直に話してみると、とても穏やかな印象の人でした。少し立ち話をしたら、電話では聞けなかった家庭の状況を聞けて、一緒に解決策を考えることができました。直接会って話すことはやはり大事だと感じます。実習中、悩んだことや難しいと感じたことは? 実習の最後にある研究授業で、準備していたことが全然できなくて、授業後の反省会では涙が止まりませんでした。子どもたちが全然理解できていないな、と感じても、「カリキュラムに遅れが出ないよう、なんとか進めなければ」と思ってしまった。実習に来る学生の中には、「上手くやらずにちゃ」と意識しすぎているのか、すごく固くなっている人がいます。自分らしく誠実にとりくめばよいのです。足りない部分は教員がフォローします。

ベテラン教員と比べて上手くできないのは当たり前です。 あまり気にせず、自分のできることに精一杯とりくむ姿勢があれば良いのではないかと思います。もう一つ感じたのが、叱るのは難しいということでした。どんな時に、どこまで叱って良いのか悩みました。

一人の子がトイレにこもったのですが、担任の先生は教室に残り、私はその子のところに行きました。とにかく話を聞くことに徹しようと、「ここに入る前に何があったの?」「誰かが何か言ったのかな?」と、答えやすい質問を投げかけると、ポツポツと話し始めて、そのうちに、ガチャと扉が開き、教室に戻ってくれたのです。それまでは、「実習生は先生方に面倒をかけている存在で申し訳ない」と思っていたのですが、この時は少しはお役に立てた気がしました。

小学校では、学級担任を持った最初の3日間は、教員の指導がすごく子どもたちに入りやすい大事な時期なのです。 その時、「こういう時だけは怒るよ。それ意外は怒らないから安心してね」と伝えるようにしています。具体的には、「命の危険があるようなことをした時」「自分の幸せのために相手を傷つけた時」「何度注意しても直そうとしない時」の3点くらいです。子どもは、叱られた事実だけが印象に残り、何を叱られたか分からない、ということがよくありますから、叱る時には、何が悪かったか、どうすれば良かったかを具体的に伝えることが大事です。

とにかく子どもたちと一緒に活動することの大切さを学びました。実習期間中、地域の陸上記録会があったので、それに向けて子どもたちと放課後、練習をしました。陸上は専門ではなかったので、スマートフォンで練習の動画を撮って、それを一緒に確認するというのを繰り返していました。そうしているうちに、みるみる

実習中、クラスの女の子同士でのトラブルを経験しました。

実習中、クラスの女の子同士でのトラブルを経験しました。

る上達して、記録会では複数の子どもが上位の成績を残してくれました。子どもたちとの距離もすごく縮まりましたし、得意分野を「教える」とだけに関わり方ではないと実感しました。現職教員として、これから教育実習に行く学生に伝えたいことは? 実習生を迎える前、子どもたちにこんな話をしていました。「今度来る先生が、将来いい先生になるか、先生になるのをやめてしまうかは、みんなにもかかってるんだよ」と。子どもたちの中にも「先生が困っていたら助けようよ」とか、「元気がなかったら励まそう」というような考えが芽生えるようで、自発的に実習生に「こんな先生になって」というメッセージを送りたい、と言ってきたこともありました。失敗を恐れず、自分らしく子どもたちと向き合ってもらえればと思います。実習生を受け入れることは、子どもたちにとっても、良い刺激になると思います。「迷惑になるんじゃないか」などと萎縮することなく、色々なことにチャレンジして全力投球してもらいたいと思います。



フォローしますから自分らしくとりくんで / 失敗も経験になります / 思った通りにはなかなか進まなくて...

特別支援教育の変遷

- 1947年
教育基本法、学校教育法公布
→盲学校、聾学校、養護学校による「特殊教育」構想
- 1948年
中学校の就学義務並びに盲学校及び聾学校の就学義務及び設置義務に関する政令施行
→盲学校、聾学校の義務制開始
- 1979年
養護学校における就学義務及び養護学校の設置義務に関する部分の施行期日を定める政令施行
→養護学校の義務制開始
- 1993年
学校教育法施行規則改正
→通級制度の開始
- 2001年
文部科学省「特殊教育課」が「特別支援教育課」に移行
- 2006年
改正学校教育法施行規則改正
→通級制度の弾力化
- 2007年
特別支援教育が正式実施
- 2013年
障害者差別解消法 公布
→合理的配慮の提供義務化
- 2016年
学校教育法施行規則改正
→高等学校にも通級制度導入

特別支援教育は、「特別支援学校」「特別支援学級」「通級による指導」の3種類があります。特別支援学校は、主に障害の程度が重かったり、複数の障害を併せ持ったりしている子どもを対象としています。

特別支援学級は小中学校に設置され、主に障害の程度が軽かったり、言語障害、自閉症などの子どもを対象としています。

通級による指導は、情緒障害、自閉症、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）などの子どもが、通常の学級に在籍しながら、週に1〜8時間程度、特別の指導を受ける形態です。

12年に実施した文科省の調査

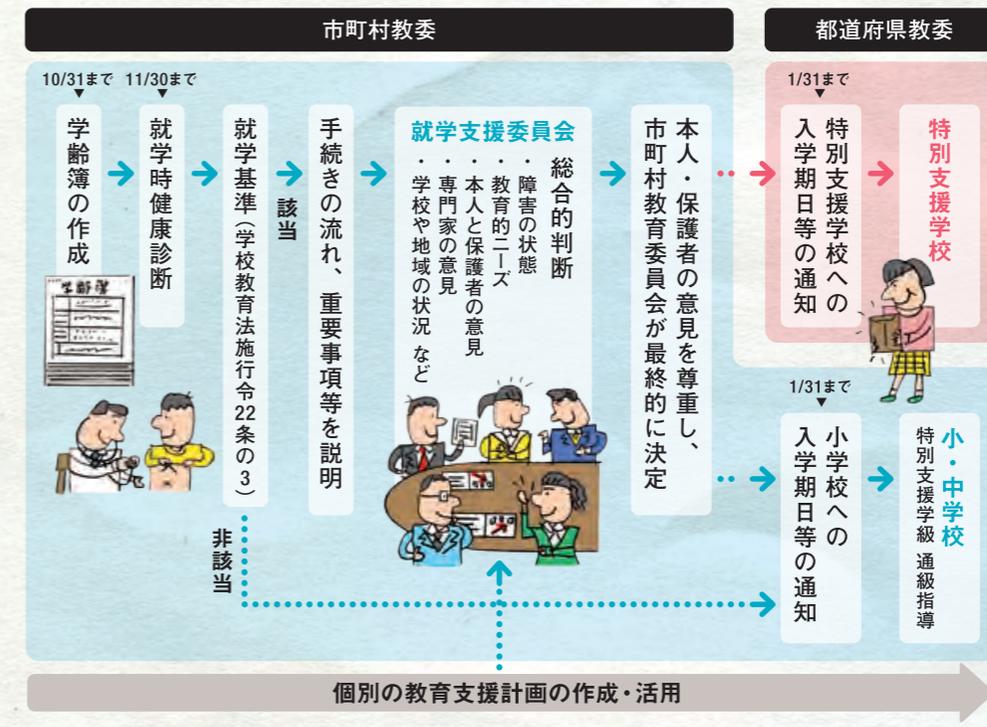
Q 特別支援教育の種類と対象は？

では、小中学校の通常学級に在籍し、「学習面又は行動面で著しい困難を示す」子どもの割合は6・5%で、98年調査時の40%程度から増加傾向にあります。40人学級で3人程度の子どもが発達に課題がある計算です。こうした状況を踏まえ、18年より高校においても、通級による指導が可能となるなど発達障害への対応が行われています。

Q 就学先はどう決まるの？

特別支援学校の対象とする障害の程度は学校教育法施行令第22条3に定められており、この就学基準に基づいて子どもの就学先が決定されます。これまでは、就学時健康診断の際に障害があるとされた子どもは、就学基準に該当する場合に特別支援学校、

障害のある児童・生徒の就学先決定の流れ



Q 特別支援教育はいつからあるの？

戦後、障害のある子どもの教育は、1947年の学校教育法で示された「特殊教育」構想に基づいて行われてきました。障害を視覚障害、聴覚障害、知的

障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱の主に5種類に分けた上で、障害の種類と程度に応じて、重い障害の子どもは盲・聾・養護学校で、障害の軽い子どもは小中学校の特殊学級で、手厚くきめ細かな教育をすることとされました。

しかし、時間が経過するにつれて、特殊教育の考え方に綻びが生じてきました。一点目に、複数の障害を併せ持つ（重複障害）子どもの増加によって、障害種ごとに教育の場を設定するシステムが十分に機能しなくなりました。二点目に、発達障害など障害の概念や範囲が大きく変化する中で、小中学校の通常学級に在籍し、かつ特別な支援を必要とする子どもたちへの対応が必要になったことです。

また、06年の国連総会で採択された「障害者権利条約」では、共生社会の実現に向けて、障害の有無に関わらず共に学ぶ「インクルーシブ教育」の理念が重要だとされました。

こうした状況の中、06年に学校教育法が改正され、07年より「特別支援教育」が導入されました。従来の特殊教育の考え方を改め、一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた教育の場を設定し、障害のある子どもの生活や学習上の困難を克服するための適切な指導や必要な支援をすることとされました。これにより、盲・聾・養護学校は「特別支援学校」に一本化され、一つの学校で複数の障害種に対応することとなりました。

Q 「合理的配慮」とは？

14年に日本も「障害者権利条約」を批准しました。条約の理念に基づき、共生共学の実現が求められています。また、16年4月施行の「障害者差別解消法」により、公立学校を含む国・地方公共団体に「合理的配慮」の提供が義務付けられました。段差に携帯スロープを渡す、筆談・手話など本人のニーズに合った手段を用いるなど、本人・保護者と合意形成を図りながら、その内容を変更・調整していく必要があります。

共生社会に向けて、当事者一人ひとりのニーズに応えられる体制整備を進めることが求められています。

樋口修資（ひぐちのぶと）

明星大学教育学部長。1976年に文部省（現文部科学省）入省、大臣官房審議官、スポーツ・青少年局長などを歴任。2009年より明星大学教授、東京学芸大学客員教授。



イラスト：ワタナベケンイチ

今さらきけない！教育問題 ⑨

「特別支援教育」とは？

「頻繁に耳にするけど実はよくわからない」
そんな教育問題をわかりやすく解説。
今回は、「特別支援教育」を取り上げます。



栗原拓也さん (青山学院大学教育人間科学部教育学科4年) ①折りたたみ傘 ②図書館の窓際 ③高校の野球部のコーチの言葉。選択の基準について「損得じゃなく、善悪で生きろ」④子どもたちに「自分も先生になりたい」と思ってもらえるような教員



添田啓太さん (日本大学文理学部教育学科4年) ①手帳とモバイルバッテリー ②図書館の角の机 ③中学の時の先生が常々言っていた「何をすべきか常に考え、気づいたら最も良いと思う行動をしろ」④どんな仕事に就いていても、周りから信頼されている人



小山利加子さん (青山学院大学教育人間科学部教育学科4年) ①ウォークマン ②ハンドベル演奏で出演する大学礼拝堂 ③小学校の担任に言われた「やればできる!」。みんなを励まし、サポートしてくれた ④子どものSOSを見逃さない、誠実で明るい教員



山下智幹さん (日本大学文理学部教育学科3年) ①絆創膏 ②新本館1階の自習スペース。適度にガヤガヤしている方が集中できる ③中学の時の担任に言われた「教員に向いている。良い教員になれるまで努力を怠るな」④教員になり、家庭と仕事を両立していたい

CAMPUS SNAP

10年後、どんな自分になっていたいですか?



今回のキャンパススナップは

東京都の青山学院大学教育人間科学部と、日本大学文理学部で教職課程を履修されている学生のみなさんにご登場いただきました!



- ①いつも持ち歩いているものはなんですか?
- ②大学構内でお気に入りの場所を教えてください。
- ③今でも覚えている先生(家族、友人、恋人等)の言葉は?
- ④10年後どんな自分になっていたいですか?



小泉達也さん (日本大学文理学部教育学科4年) ①電子辞書、教採用の勉強道具 ②学科の学生室。教育関係の本がたくさんある ③高校の先生に言われた「大学で多くを吸収してさらに大きく成長しろ」④地域と連携し一人でも多くの不登校生徒を救える教員



牟田愛梨さん (青山学院大学教育人間科学部教育学科4年) ①リップクリーム、ハンドクリーム ②ピアノが弾ける器楽室 ③大学の先生に言われた「努力で夢が必ず叶うわけではないが、努力しない限り夢は叶わない」④どんなときも笑顔で、楽しい授業をする自分



林省吾さん (日本大学文理学部教育学科3年) ①骨折のため、松葉杖と保険証・診察券 ②図書館 ③執刀医の「折れた骨は完全には元に戻らない」との言葉。事実との向き合い方が大切だと思った ④受け持った生徒が外国語の学習を好きになれるような教員



田倉直哉さん (青山学院大学教育人間科学部教育学科4年) ①ペン字練習帳 ②いつでも温かく迎えてくれる教育学科の合同研究室 ③高校の世界史の先生に言われた「歴史は当時の人を想像すること」。暗記科目との認識が180度変わった ④家庭をもっていたい

※学年は取材時のもの

PICK UP INFORMATION

編集部が目にする教育業界の活動や教育関連書籍を紹介します。

EVENT

シンポジウム「学校の働き方改革の実現を」
6月1日に東京・千代田区の
プレスセンターホールで開催



2017年に開催されたシンポジウム「教職員の働き方を変える～学校にも働き方改革の風を～」(主催:教職員の働き方改革推進プロジェクト、社会応援ネットワーク)の様子

2018年6月1日(金)18時30分より、東京・千代田区の「日本プレスセンターホール」にてシンポジウム「学校の働き方改革の実現を」が開催されます。主催する「教職員の働き方改革推進プロジェクト」は、17年4月以来、教職員の時間外労働に上限規制を設けるべくインターネットや紙面による署名活動にとりくみ、18年1月にはこれまで集めた約50万人分の署名用紙を文部科学省および厚生労働省に提出しました。

こうした動きの中、17年6月、教職員の長時間勤務の是正に向け、中教審「学校における働き方改革特別部会」が発足。同年8月の「緊急提言」、12月の「中間まとめ」では、長時間勤務を是正する上で重要なのは、勤務時間管理に係る制度的な方策の見直しであると示されました。

本シンポジウムでは、教職員や保護者、教育関係者の具体的な意見を交えながら、「学校の働き方改革」を

社会全体の課題ととらえ、推進していくための道筋を探ります。

教職をめざす学生のみなさんも、ぜひ会場に足を運び、自分たちの進む学校現場の状況についての議論を聴いてみてはいかがでしょうか。

入場無料。お申し込みは以下のホームページまたは二次元コードより。

シンポジウム 「学校の働き方改革の実現を」

日時:2018年6月1日(金)18:30~20:30
場所:プレスセンターホール
(東京都千代田区内幸町2-2-1)

主催:
教職員の働き方改革推進プロジェクト
後援:
日本労働組合総連合会
全国過労死を考える家族の会
(一社)社会応援ネットワーク 他

お申し込み:
「教職員の働き方改革推進プロジェクト」のWebサイトより申し込みフォームにアクセス



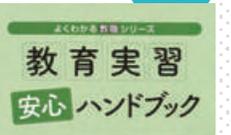
教職員の働き方改革推進プロジェクト 検索

BOOK

教育実習に向かう学生必携
手元にあると安心の一冊



今号の特集で取り上げた「教育実習」は、教職をめざす学生ならば誰もが通る道ですが、実習前は色々と不安が出てくるもの。安心して教育実習に臨めるよう、基礎的な事柄をまとめたハンドブックの新版が2018年4月に発売されました。新学習指導要領にも対応し、教職課程の学生をサポートします。実習前にやっておくことから実習後の対応までの流れをポイントごとに



『よくわかる教職シリーズ 教育実習 安心ハンドブック』

小山茂喜 編著/学事出版 刊

分かりやすく示すとともに、観察実習(授業参観)で見るときのポイントや学習指導案の作り方など、教育実習生が持つ具体的な疑問に答えてくれます。シリーズの『介護等体験安心ハンドブック』も同時発売。

PRESENT

みなさんの声をお寄せください

EDUPONTを読んだ感想や取り上げて欲しい内容など、みなさんのご意見をお聞かせください。編集部まで声をお寄せいただいた方の中から、『よくわかる教職シリーズ 教育実習安心ハンドブック』(学事出版)をプレゼントします。EDUPONTのFacebookページ内のご案内、または以下の二次元コードからお申し込みください。みなさんのご応募をお待ちしています。

応募先



https://www.facebook.com/edupont2014/

採用情報と比べてみよう 給与明細 Q&A

給与
大学卒・大学院卒
月給20万5000円
短大・専門学校卒
月給17万5000円

諸手当
超過勤務手当、子ども手当、
通勤手当、地域手当等

保険
健康保険、厚生年金保険、
労災保険、雇用保険 等

福利厚生
財形貯蓄、企業年金基金、
従業員貸付制度 等

Q. 給与明細はどう見ればいい?

A. 項目は大きく3種に分かれます。**勤怠**は、一カ月の勤務実績。給与計算の根拠となります。**支給**は、会社から支払われるお金の明細です。**控除**は、給与支給時に会社が天引きする項目のこと。税金や社会保険料は「法定控除」といいます。**健康保険料**や**厚生年金保険料**は会社と従業員が半分ずつ負担します。その他、**財形貯蓄**などは各企業により対応が異なります。

平成30年4月分		会社名		株式会社														
給料明細書	部門-所属	0000	社員番号	000-00-0000	氏名 応援太郎 殿													
勤怠	勤務日数	20	年休日数	0	特休日数	0	欠勤	0	遅早時間	0	超勤時間	15	休日時間	0	深夜時間	0		
支給	基本給	205,000	職務手当	10,000	役職手当	0	家族手当	0	住宅手当	0	時間外手当	24,023	課税交通費	0	非課税交通費	17,930	総支給額計	256,953
控除	法定控除	健康保険料	11,952	厚生年金保険料	21,393	雇用保険料	956	社会保険料計	34,301	所得税	4,910	住民税	15,400	法定控除額計		54,611	控除額計	78,111
		内部控除	共済会費	500	年金保険料	0	損害保険料	0	組合費	3000	財形貯蓄	20,000	内部控除計		23,500			
	銀行1振込額	178,842	銀行2振込額	0	銀行3振込額	0	差引支給額		178,842									

*この明細は実例を元にしたモデルです。

Q. 残業代の計算法って?

A. 労働基準法により、原則一日8時間・週40時間の「法定労働時間」を超えた場合は**時間外手当**として規定された率の割増賃

金が支給されます。さらに休日や深夜の時間外労働は割増率がアップ。裁量労働制などの場合には不適用のことも。

Q. 実際の手取り額は?

A. **基本給**に、各手当が加算され(職務手当など)、控除の合計額が差し引かれたものが実際の手取りとなります。給与明細では

差引支給額が該当します。また、企業の採用情報に記載される**月給**は**基本給**に各手当を含む場合があります。

社会に出た後が漠然と不安です

一緒に考えていきましょう



先輩体験2

無意識貯金? 財形貯蓄を活用しよう!

財形貯蓄とは、従業員の資産形成を支援するために、会社が金融機関と連携して給与や賞与から一定額を天引きして貯蓄してくれる仕組みです。私は入社時に会社の先輩に勧められて、なんとなく始めました。毎月の給与から天引きされるので、無意識のうち

にコツコツと貯金できます。会社によっては貯蓄額の数%が奨励金として支給されるので、銀行口座に預けておくよりもお得な場合もあります。ただし、会社によって引き出しの方法が異なるので、制度をよく確認して無理のない金額から始めると良いです。

メーカー勤務 SE/2年目



先輩体験1

社会人2年目から納付開始。住民税に備えよう。

社会人2年目の6月。給与明細を見ると、手取りが1万円ほど下がっていることに気がつきました。「頑張ってきたのにどうして!」とやるせなさを感じたことを今でも覚えています。原因は「住民税」。住民税は前年の1月~12月の所得に對

して課税されます。天引きされる場合、始まるのは2年目の6月。突然の「痛い出費」となりました。社会人の最初は、羽振りがよくなりがちですが、油断は禁物です。来たる「住民税ショック」に、早い段階から備えておくのが賢明です。

出版社勤務 営業/4年目



解説! 社会保障制度

引かれたお金はどこへ? 社会保障制度の意義とは

社会人になって初めての給与明細を見て、額面と手取りの差に驚くかもしれません。引かれたお金は、私たちの生活にどう関わるのでしょうか。病気やケガで働けなくなるなど、リスクに直面した時のセーフティネットとして、生活保護や社会保障制度などの社会保障制度があります。日本では、一定の要件を満たす人は社会保障組合への加入が義務づけられています。会社は、従業員の給与から年金や健康保険、雇用保険などの社会保障料を天引きし、会社負担と合わせて支払わなければならないかもしれません。こうしたことがしっかり行われているかどうかは、経営基盤を測る指標にもなります。年金は、65歳以上が受け取るイメージが強いですが、病気やケガ、うつ病などの精神疾患で障害を負ったり、親が亡くなった時に受給できる障害年金・遺族年金などもあります。若者にとっても、いざという時に生活を助けてくれる重要な仕組みです。若く健康な時は、「貯金しておけば大丈夫」と思いがちです。しかし、「人生百年時代」の今、退職後も何十年と生きるのです。想定外のリスクに出会った時、個人の力だけで対処できるとは限りません。実際に学校では、社会保障制度からこぼれ落ちてしまった子どもたちを目にします。保護者が健康保険未加入で病院にかかれず、保健室へ薬を貰いに来たり、授業で使う教材を用意できなかったりする子どもは珍しくありません。社会保障制度は、納税や保険料の拠出によって、誰もが抱えるリスクを社会全体で分かち助け合う、相互扶助の仕組みなのです。

大竹美登利 (おおたけみどり)

東京学芸大学教育学部 名誉教授。博士(学術)。附属小金井小学校校長、理事・副学長、教員養成カリキュラム開発研究センター長などを経て、現職。専門は家庭教育学。



Interview

— 大阪の高校から東京の大学に進んだんですね。

もともと関西の理系大学をめざしていましたが、物理が苦手で志望を文系に変えたのを機に、大学が多い東京に目がいくようになりました。オープンキャンパスで早稲田大学を見学した後、大雨になり他大学を見ることなく大阪に帰ったんです。そうしたら、母校に数年ぶりに早稲田大の指定校推薦枠が来ていて、「運命だ」と感じました。

— 大学ではどのようなことを学びましたか？

昔から読書好きで、文学系の文芸・ジャーナリズム論系に進みました。印象深かったのは、海外の戯曲を翻訳する演習で、自分たちで戯曲を書き、演じるという期末課題です。みんなで意見を出し合いながら一つの作品を作り上げる過程を経験できたことは、今にすごく生きています。

表紙の人インタビュー

一人では挫けることも仲間となら達成できる

早稲田大学 文化構想学部
文芸・ジャーナリズム論系
2015年 卒業

キャスター 岡副麻希さん

です。一人だと挫けるようになることも、仲間と一緒に達成できるということを実感しました。

— お仕事で苦労されていることは？

私の仕事の基本だと思いますが、「伝える」ことの難しさに日々、直面しています。私の言葉は「感覚的すぎて伝わらない」とよくお叱りを受けます。生放送では端的に物事を伝えることが大事なのに、私は感情がすぐに口に出てしまつて。終わった後、流れを壊してしまったと気づき、落ち込むこともあります。

そんな時は、テレビ番組「熱闘甲子園」で母校・大阪桐蔭高校が取り上げられている回の録画を観ます。甲子園球場は、高校生の時、母校の応援に行き、初めてテレビの生中継現場に出会った場所です。「いつかあんな風にリポートしたい」と、この道をめざした日の感覚がよみがえり、原点に戻れるんです。

泳ぐフィンスイミングにチャレンジしました。水泳は個人競技というイメージが強いですが、みんなで目標に向かって努力するチームスポーツの側面もあります。遠泳の大会にも出場しましたが、遠泳はチームメンバーが船で選手に並走して、励ましたり、栄養補給のための氷砂糖を投げ渡したりして、サポートするん

— 今後の目標は？

メリハリのあるリポートで、小林麻耶さんや松岡修造さんのように見る人を巻き込んでいけるようになります。

また、大好きなスポーツの仕事には今後も力を入れていきたいです。大きな大会や有名選手の取材だけでなく、大会に向けて努力し、悩みながらも成長するアスリートたちの姿を多くの人に伝えていきたいと思っています。

Profile

1992年生まれ、大阪府出身。大学在学中の2014年から朝の情報番組『めざましテレビアリア』に現役女子大生キャスターとしてレギュラー出演。以降、『めざましテレビ』『めざましどうぶつ』のキャスターとして活躍。



Maki Okano

同じ夢をめざす仲間と今しかできない経験を!

「EDUPONTエデュポン」は、学校や地域という枠を超え、様々な形でこれからの「教育」を担っていく学生のみなさんを応援するコミュニティーマガジンです。

媒体の制作を通じて、全国の教育学部生の交流の場、学生が自由に「志」を抱き、行動に移すための有益な情報や活躍の場を提供することをめざしています。「EDUPONTエデュポン」の制作に加わってくれる全国の教員志望の大学生のみなさんの応募を心よりお待ちしております!



EDUPONT 大募集!

エデュポン 大学生特派員

【応募条件】
教員志望もしくは教育に興味のある大学生・大学院生

【活動内容】
①企画・編集会議への出席*1
②編集会議で担当が決まった企画の企画立案、取材、原稿作成*2
*1:編集会議は東京で開催。往復交通費等は「社会応援ネットワーク」が負担いたします。
*2:取材経費(交通費、宿泊費等)は「社会応援ネットワーク」が負担いたします。

【応募方法】
「社会応援ネットワーク EDUPONT」のWebページ内のリンクから申し込みフォームにアクセスし、必要事項をご記入の上、ご応募ください。
(なお、応募状況によってご希望に沿えない場合があります。ご了承ください)

社会応援ネットワーク 検索



社会応援ネットワーク

社会応援 ネットワーク



製作協力

日本教職員組合

取材協力

青山学院大学

日本大学 文理学部 末富芳研究室

協賛

中央ろうきん社会貢献基金

Facebookもチェック



エデュポン

検索

EDU PONT

2018
summer
vol. 9

発行人

高比良美穂

編集長

若染雄太

取材・編集

ニューメディア研究所
シンキング

撮影

岡村隆広
長谷川博一

デザイン

細山田デザイン事務所

学生特派員

岡田龍
(埼玉大学大学院理工学研究科)

小島奈津子
(早稲田大学教育学部)

須藤やや
(千葉大学教育学部)

田村桃花
(同志社女子大学現代社会学部)

田盛七海

(安田女子大学教育学部)

原国光

(広島修道大学人文学部)

松木泰裕

(東京学芸大学大学院教育学研究科)

※特派員の所属は2018年3月時点です。

2018年5月発行

発行人 高比良美穂

編集長 若染雄太

発行所 一般社団法人社会応援ネットワーク

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-12-11-3407
TEL: 03-6561-3739 <http://shakai-net.com>

EDU
PONT
vol. 9
2018
summer